

「被災者の自立促す手助けを」

宮城の避難所でセラピー

豊川「ジャルダン」山脇市長に活動報告

豊川市秋町の特別養護老人ホーム「ジャルダン・リラ」の職員ら。山脇市長に報告した。安心感などをもち、同日、同市役所を訪れ、東日本大震災の被災地、宮城県石巻市で...



山脇市長に活動の感想などを話す大塚理事長(左)＝豊川市役所で

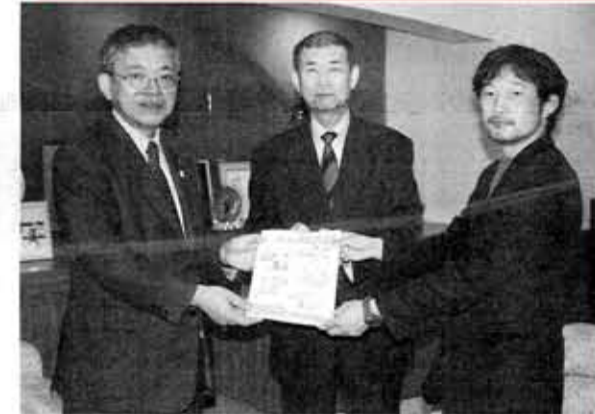
人が2班に分かれ、5月10日から17日まで石巻市で活動。報告では、20数カ所の避難所を訪れ、同ホームで取り入れられているスウェーデン発祥の背中などをさす「ハブティックセラピー」を行った様子などを映像で紹介した。

新たな「まちづくり」支援依頼

豊橋駅前大通地区まちなみデザイン会議

施策まとめ佐原市長へ手渡す

豊橋駅前大通地区まちなみデザイン会議(堀米治会長)は1日、豊橋市役所に佐原光一市長を訪ね、駅前大通地区を対象に新たなまちづくりの施策をまとめた「まちづくりビジョン」を手渡し、ビジョンの実現に向けての支援協力を求めた。



佐原市長へ「まちづくりビジョン」を手渡す石田顧問、堀米会長(左)＝豊橋市役所市長室で

「好評のアトイベントSeboneを今後3(平成25)年度に芸術文化ホールが完成することから、地域住民や学識経験者も交え、「芸術のおおまちなみ」などテーマに、ビジョンづくりを行った。そのなかで重点事業として「駅前地区の情報発信を強化し、空き店舗の活用をはかる」

6月18日は「学校いのちの日」

ボート事故から1年 大切さを考える1日に

豊橋市教委が制定

昨年6月、浜名湖での学校行事中にカッターボートが転覆して犠牲になった、豊橋市章南中1年(当時)西野花菜さんの死をいたみ、二度と事故を起こさないよう、と同市教育委員会は、事故のあった毎年6月18日を「豊橋・学校のいのちの日」に定めた。同日を中心

誓い合う。主な取り組みとして、保護者対象の救命講習、マに住民参加型の講演会や映画上映、全校児童生徒を対象にした校長講話など、挙げられる。

は「皆さんの熱意はよくわかりました。市としても、ビジョンが目に見える成果になるよう、できる限り支援していきたい」と激励した。(天野武宏)

マイクバスから、バン・ワゴン・トラック・乗用車まで豊富な車種で、しかも低料金。カラオケ、テレビ、ビデオ、冷蔵庫等、安心設備のマイクバスで快適な旅！

(0532) 45-7074

必要なおきにお好みのクルマを

貸し農園の利用者募集

設楽町 名倉と豊邦の計13区画

自然に親しみ田舎の良さを満喫してもらおうと、設楽町は、今年度も貸し農園の利用者を募集している。名倉地区の5区画と豊邦地区の8区画で、「昼夜の温度差が大きく、野菜のうまみを引き出す。ぜひどうぞ」とPRする。

同町によると、貸し

20年間の取り組み冊子に

植樹活動「若者が継いで」

新城の原田さん

「好評のアトイベントSeboneを今後3(平成25)年度に芸術文化ホールが完成することから、地域住民や学識経験者も交え、「芸術のおおまちなみ」などテーマに、ビジョンづくりを行った。そのなかで重点事業として「駅前地区の情報発信を強化し、空き店舗の活用をはかる」

できたのが思い出深いという、「果たして木や彼らはどうなっているのか」と思いをはせる。

これまでの活動に「あつという間だった。実際、なかなか思うようにいかなかったのも事実だが、最低限のことではできた」と自負。

「砂漠化を目的にしたりして恐怖感を与えてはいけない」と警告も鳴らす。

冊子は、A4サイズ(モノクロ)63ページで、活動の経過や体験談が